

タブレットを活用して思考を深め、生徒自身が「やり取り」を振り返る  
(SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 Our Project1 あなたの知らない私)

- ① 話・や ② 評価 ③ Web カメ ③ タブ ④ Google スライド

【ここがポイント！】

④ Google Jamboard

① 「思考ツールとしてのタブレット活用」

情報を収集するために、インターネットを使って調べたり、スライドに写真を貼り付けたりする。また、思考を深めるために、Jamboard でマッピングをしたり、話の構成を考えて、互いに付箋機能を使ってアドバイスを伝え合ったりする。

② 「自分のやり取りを分析するための録画機能の活用」

自分のスピーチやA L Tとのやり取りをタブレットで録画する。録画したものを見返して、どのように表現したり応答したりしていたか書き取り、自己評価につなげる。

【実践の目標】

内容を整理して、まとまりのよいスピーチをし、A L Tの質問に答えることができる。

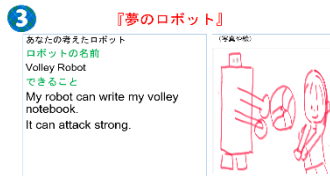
【実際の場面】

1. 教科書の音読を繰り返し行う

教科書の本文は、パフォーマンステストに向けて、正確に読めるように繰り返し練習した。分からないところはデジタル教科書で音声を確認し、音読した動画を Google Classroom に提出させた。

2. 複数のテーマでスライドを作成する

「身近な人の特技」「特殊な能力をもつ動物」「理想のロボット」など、複数のテーマでそれぞれ情報や画像を調べ、スライドを作成した。



3. マッピングで話したい内容を決める

Jamboard を利用し、2のテーマも参考にしながら、「あなたの知らない私」というテーマで話したい内容を付箋に書いて貼った。

4. 交流・アドバイスをする

付箋をもとに、英語に直し、グループで共有した。「文構造に関すること」と「構成に関すること」で色分けをした付箋に互いアドバイスを書いて貼り、文章を再考した。

5. グループで発表し合う

完成した文章を、スライドを見せながらグループで発表した。その際、「反応」、「質問」を班員にさせ、パフォーマンステストの際の練習となるようにした。

6. A L T とやり取りをする

練習を繰り返した後、A L T とやり取りをした。その際、スライドをテレビに映し、タブレットで、自分のやり取りの様子を撮影した。

7. 自己評価を行う

パフォーマンステストが終わった生徒から、自分のテストの様子を見返し、良かった点やA L T の質問にどのように答えていたかなど、自己評価を行った。

【成果と課題】

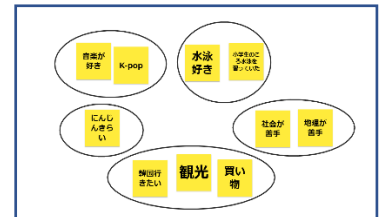
【成果】

- 音読で読めないままにせず頑張ろうとする姿が増えた。
- 事前にテーマを送っておくことで、内容で悩む時間が省けた。
- ICTを活用することにより、効率よく多くの人数と交流できた。
- 自分の話した内容を見返すことを通して、表現内容の変容を正確に振り返られるだけでなく、態度や表情などにも気が付くようになった。

【課題】

- Jamboard は紙に書くことに比べ、付箋を移動したり消したりできるので、教師が生徒の思考の過程や、加筆・修正の様子など、変容を見取ることに課題がある。

海田町立海田中学校



I like music.  
I like K-Pop.  
I don't like carrot.  
I want to go to Korea.  
I want to go shopping.  
I like swimming.  
I'm not good at social studies.  
I don't like gyography.

